

研究・調査報告書

報告書番号	担当
252	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Alcohol increases c-myc mRNA and protein in skeletal and cardiac muscle. アルコールは骨格筋や心筋で c-myc mRNA やそのタンパク質を増加させる	
執筆者	
Paice AG, Hesketh JE, Towner P, Hirako M, Peters TJ, Preedy VR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Metabolism 2002, 51(10):1285-90	
キーワード	
オンコジーン、筋肉、心筋、c-myc タンパク質、エタノール	
要 旨	
<p>アルコールが原因である筋肉病の発病メカニズムについてプロトオンコジーン発現がその発病過程で増加することはわかっているが、その詳細についてはよくわかっていない。本研究では通常エタノールを急性に飲む用量 (75 mmol/kg/body weight) で与えて、2.5-24 時間後に、骨格筋の c-myc タンパク質や mRNA の動態について調べた。また心筋についても同様にそれらの動態について検討した。</p> <p>その結果、急速なエタノールの投与は心筋、筋肉共に c-myc プロトオンコジーン mRNA 量増加が観察された。c-myc mRNA の変化は筋肉の核にあり、介在性細胞核における変化は観察されなかった。これは筋肉でエタノールに対してオンコジーンが増加することを示した初めての報告であり、c-myc タンパク質や mRNA の増加はストレスに適応する変化を示している可能性が示唆される。</p>	